

総合グラウンド（クラブハウス）、市民球場、油平クラブハウス、山田グラウンド（管理事務所）、小和田グラウンド（休憩所）の再編等の考え方

1 概要

総合グラウンド（クラブハウス）、市民球場、油平クラブハウス、山田グラウンド（管理事務所）、小和田グラウンド休憩所などの体育施設等は、令和10年度「ねんりんピック（全国健康福祉祭）」が東京都開催となったことにより、本市が会場地の一つとなり施設改修等を行う可能性などがあります。このことに伴い、施設の利用状況などに影響が及ぶ可能性があることから、こうした動向を確認し、再編等の方向性を決定する方針を定めます。

2 再編等の方向性の内容（施設ごと）

個別施設計画で示す再編等の方向性の選択肢は次のとおりです。

施設名称	個別施設計画を踏まえた再編等の方向性		再編等に関する実施計画	再編等の方向性の内容
	選択肢 1	選択肢 2	採用した再編等の方向性	
総合グラウンド（クラブハウス）	多機能化 （更衣室・シャワー室は必要な設備であり維持するが、畳の部屋は機能を転用し、多機能に活用（グラウンドは集約化の検討余地あり）	－	総合グラウンドなどの体育施設等の改修の動向などを確認し、再編等の方向性を決定する。	総合グラウンド（クラブハウス）、市民球場、油平クラブハウス、山田グラウンド（管理事務所）、小和田グラウンド休憩所などの体育施設等は、令和10年度「ねんりんピック（全国健康福祉祭）」が東京都開催となったことにより、本市が会場地の一つとなり施設改修等を行う可能性などがあります。このことに伴い、施設の利用状況などに影響が及ぶ可能性があることから、こうした動向を確認し、再編等の方向性を決定する方針を定めます。
市民球場	集約化・多機能化 （広域連携（費用負担）、同種施設の集約化、多機能化）	－		

施設名称	個別施設計画を踏まえた再編等の方向性		再編等に関する実施計画	再編等の方向性の内容
	選択肢 1	選択肢 2	採用した再編等の方向性	
油 平 ク ラ ブハウス	規模縮小・多機能化 (利用実態を踏まえた規模縮小、多機能化)	—	総合グラウンドなどの体育施設等の改修の動向などを確認し、再編等の方向性を決定する。	総合グラウンド（クラブハウス）、市民球場、油平クラブハウス、山田グラウンド（管理事務所）、小和田グラウンド休憩所などの体育施設等は、令和10年度「ねんりんピック（全国健康福祉祭）」が東京都開催となったことにより、本市が会場地の一つとなり施設改修等を行う可能性などがあります。このことに伴い、施設の利用状況などに影響が及ぶ可能性があることから、こうした動向を確認し、再編等の方向性を決定する方針を定めます。
山 田 グ ラ ウ ン ド (管 理 事 務 所)	集約化 (同種施設との集約化)	—		
小 和 田 グ ラ ウ ン ド (休 憩 所)	規模縮小 (利用実態を踏まえた規模縮小)	集約化 (同種施設との集約化)		

■再編等に関する実施計画

令和7年12月

施設棟番号	D-3		所管部署	教育部	スポーツ推進課	スポーツ推進係
施設分類	大分類	スポーツ・レクリエーション施設	中分類	スポーツ施設	小分類	
施設名称	総合グラウンド（クラブハウス）					
所在地	あきる野市二宮東1-11-2				敷地面積(㎡)	74,082
延床面積(㎡)	190.77	構造	その他	建築年度	平成7	経過年度 30

計画期間	令和8（2026）年度～令和10（2028）年度					
①事業の概要	<p>設置根拠：あきる野市体育施設の設置及び管理に関する条例</p> <p>設置目的：体育、スポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、市民の健康で文化的な生活の向上に寄与するため。</p> <p>サービスの概要：体育施設及びこれに附属する設備の提供。体育施設における体育、スポーツ及びレクリエーションの指導及び普及事業の実施など。</p>					
②事業の現状	<p>・利用者の対象年齢としては、子どもから高齢者まで幅広く利用しており、平成27年度から令和6年度までの1年間の平均利用者数は約840人となっている。（令和2年度はコロナウイルス感染症の影響を受け、利用を制限するため、臨時休館や時間短縮を行っていたことにより、利用者数は約750人まで減少している。）</p> <p>・当該施設は、総合グラウンド利用者の更衣、トイレ休憩、暑熱対策や天候急変時の避難所等としても利用されており、スポーツ活動の拠点施設として重要な役割を担っている。</p>					
③将来的な事業のあり方（方向性）	<p>・総合グラウンドの年間利用者数は4万人前後と利用者も多く、今後も継続して、利用者が快適に充実したスポーツ活動に取り組めるよう施設を維持していく。</p> <p>・機能としては、グラウンド利用者（年間3万人以上）のトイレや更衣のほか、会議、暑熱対策や天候急変時の避難所等で使用できる施設となっている。</p>					
④事業の課題	<p>・広大な面積のグラウンドと施設を維持管理していることから、管理事務所機能は必要不可欠であるが、現在、老朽化が著しく、今後は管理事務所の機能についても、クラブハウスの在り方と併せて考えていく必要がある。</p>					

⑤個別施設計画における施設の再編等の方向性（令和3年6月時点）	再編等の方向性	多機能化							
	保全の方向性及び実施時期の目安	大規模改修	令和7	建替え 又は 長寿命化改修	令和22	長寿命化後の建替え	—	(参考)建替え時 築年数	45
⑥再編モデル案検討のための施設特性整理	利用対象	市民一般			備考	・市民の利用が多い。			
	需要傾向	利用需要変化なし				・コロナ禍で一時は減少傾向に転じたものの、コロナ禍前の利用水準に戻りつつある。			
	規模適正度	時間帯により余剰スペースあり				・時間帯によっては空きがある状態である。			
	建物活用	多目的利用検討可能	○			・クラブハウスにおいては多目的な利用が可能である。			
		複合化・集約化によるサービス水準の向上が期待される	×						
		設置目的と異なる使用状況あり	×						
		単独機能での建物利用が望ましい	×						
		賃貸借物件での運営も可能（市有物件での運営は必須ではない）	×						
		投票所機能	×						
		避難所機能	×						
	敷地所有	全借地（無償）							
	都市計画法規制	市街化調整区域				・用途：工業地域			
	利用圏域	市全域				・市民の利用が大部分を占めている。			
広域化可能性	検討不可			・市外の方々の利用は少なく、広域化は難しい。					
機能重複度	利用圏域に同種・類似施設がある（民間施設）	×		・利用圏域に同種・類似施設があり、同様の事業も行っているが、施設同士距離が離れており利用者にとってはサービスの供給量を減らすことは望ましくないと考える。					
	利用圏域に同種・類似施設がある（国・都・市施設）	○							
	利用圏域に同種・類似施設はない	×							
⑦施策との関連性	関連施策	第2次あきる野市スポーツ推進計画 基本目標5スポーツに親しめる場の提供～スポーツをする場の提供～							
	説明	誰もが気軽にスポーツや運動に親しむことができる環境づくりに向けて、スポーツに親しむ場の整備や指定管理者と連携し、多様なニーズに対応できるよう施設の効率的な管理、サービスの向上を図るものである。							
⑧再編等の方向性及び修繕・改修等の考え方	【方向性】				（同時に行う対応）				
	総合グラウンドなどの体育施設等の改修の動向などを確認し、再編等の方向性を決定				—				
	【再編方針】 ・総合グラウンド（クラブハウス）、市民球場、油平クラブハウス、山田グラウンド（管理事務所）、小和田グラウンド休憩所などの体育施設等は、令和10年度「ねんりんピック（全国健康福祉祭）」が東京都開催となったことにより、本市が会場地の一つとなり施設改修等を行う可能性などがある。このことに伴い、施設の利用状況などに影響が及ぶ可能性があることから、こうした動向を確認し、再編等の方向性を決定する。				【修繕・改修】 ・再編するまでの間、施設の老朽化や定期的な点検・診断結果に基づき、実施する。				
⑨計画実行のスケジュール	想定実施年度	想定対策内容			想定実施年度	想定対策内容			
	令和8年度以降	・体育施設等の改修の動向などを確認し、再編等の方向性の検討			令和8年度以降	・未定 （再編等の方向性に沿った具体的手法による）			
⑩計画実行に当たっての留意事項	—								
⑪計画実行後の課題	—								

■再編等に関する実施計画

令和7年12月

施設棟番号	D-4		所管部署	教育部	スポーツ推進課	スポーツ推進係
施設分類	大分類	スポーツ・レクリエーション施設	中分類	スポーツ施設	小分類	
施設名称	市民球場					
所在地	あきる野市原小宮353				敷地面積(㎡)	17,967.30
延床面積(㎡)	878.25	構造	RC造	建築年度	昭和59	経過年度 41

計画期間	令和8(2026)年度～令和10(2028)年度					
①事業の概要	<p>設置根拠：あきる野市体育施設の設置及び管理に関する条例</p> <p>設置目的：体育、スポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、市民の健康で文化的な生活の向上に寄与するため。</p> <p>サービスの概要：体育施設及びこれに附属する設備の提供。体育施設における体育、スポーツ及びレクリエーションの指導及び普及事業の実施など。</p>					
②事業の現状	<p>・利用者の対象年齢としては、少年野球から社会人野球まで多くのチームが利用しており、平成27年度から令和6年度までの1年間の平均利用者数は約12,600人となっている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用を制限するため、臨時休場や時間短縮を行っていたことにより、利用者数は約9,300人まで減少したが、令和5年度以降はコロナ禍前の約12,000人まで回復している。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、利用者数については大幅に減少することなく推移しており、市民のスポーツ活動の拠点施設として重要な役割を担っている。</p> <p>・少子高齢化問題はあるものの、幅広い年代の方が利用しており、市外の高校や大学の利用も多い。</p>					
③将来的な事業のあり方(方向性)	<p>・同種施設の利用状況や老朽化等の状況を踏まえながら施設の整備を行っていく必要がある。</p> <p>・過去にはプロ野球のキャンプや高校野球予選及び国民体育大会の会場として使用されている。施設の改修により機能を充実させ、今後も維持管理していく。</p>					
④事業の課題	<p>・建築後40年以上が経過しており、施設、設備等の老朽化が著しいことから、夜間照明の球切れによる照度不足が課題となっている。このため、グラウンド全体の照明のLED化などを検討する必要がある。</p> <p>・ダッグアウトやトイレの雨漏り等が見られ維持管理面の課題となっている。</p>					

⑤個別施設計画における施設の再編等の方向性（令和3年6月時点）	再編等の方向性	集約化・多機能化							
	保全の方向性及び実施時期の目安	大規模改修	平成23	建替え 又は 長寿命化改修	令和25	長寿命化後の建替え	—	（参考）建替え時 築年数	60
⑥再編モデル案検討のための施設特性整理	利用対象	市民一般			備考	・市外在住者も利用可能である。			
	需要傾向	利用需要変化なし				・コロナ禍で一時は減少傾向に転じたものの、コロナ禍前を超える利用状況となっている。			
	規模適正度	時間帯により余剰スペースあり				・土日祝日は大会等でほとんど空きがない状態であり、平日は時間帯によっては空きがある状態である。			
	建物活用	多目的利用検討可能	×			・市民球場は野球での使用に限られており、多目的利用の検討はしていない。			
		複合化・集約化によるサービス水準の向上が期待される	×						
		設置目的と異なる使用状況あり	×						
		単独機能での建物利用が望ましい	○						
		賃貸借物件での運営も可能（市有物件での運営は必須ではない）	×						
		投票所機能	×						
		避難所機能	○						
	敷地所有	市有地							
	都市計画法規制	市街化調整区域				・用途：第二種低層住居専用地域			
利用圏域	広域（複数自治体）			・市外在住者も利用することから利用圏域は広域になっている。					
広域化可能性	検討中			・市外在住者の利用もあることから近隣自治体との共同設置や共同運営は期待できる。					
機能重複度	利用圏域に同種・類似施設がある（民間施設）	×		・利用圏域に同種・類似施設があり、同様の事業も行っているが、施設同士距離が離れており利用者にとってはサービスの供給量を減らすことは望ましくないと考える。					
	利用圏域に同種・類似施設がある（国・都・市施設）	○							
	利用圏域に同種・類似施設はない	×							
⑦施策との関連性	関連施策	第2次あきる野市スポーツ推進計画 基本目標5 スポーツに親しめる場の提供～スポーツをする場の提供～							
	説明	誰もが気軽にスポーツや運動に親しむことができる環境づくりに向けて、スポーツに親しむ場の整備や指定管理者と連携し、多様なニーズに対応できるよう施設の効率的な管理、サービスの向上を図るものである。							
⑧再編等の方向性及び修繕・改修等の考え方	【方向性】				（同時に行う対応）				
	総合グラウンドなどの体育施設等の改修の動向などを確認し、再編等の方向性を決定				—				
	【再編方針】 ・総合グラウンド（クラブハウス）、市民球場、油平クラブハウス、山田グラウンド（管理事務所）、小和田グラウンド休憩所などの体育施設等は、令和10年度「ねんりんピック（全国健康福祉祭）」が東京都開催となったことにより、本市が会場地の一つとなり施設改修等を行う可能性などがある。このことに伴い、施設の利用状況などに影響が及ぶ可能性があることから、こうした動向を確認し、再編等の方向性を決定する方針を定める。				【修繕・改修】 ・再編するまでの間、施設の老朽化や定期的な点検・診断結果に基づき、実施する。				
⑨計画実行のスケジュール	想定実施年度	想定対策内容			想定実施年度	想定対策内容			
	令和8年度以降	・体育施設等の改修の動向などを確認し、再編等の方向性の検討			令和8年度以降	・未定（再編等の方向性に沿った具体的手法による）			
⑩計画実行に当たっての留意事項	—				—				
⑪計画実行後の課題	—				—				

■再編等に関する実施計画

令和7年12月

施設棟番号	D-6		所管部署	教育部	スポーツ推進課	スポーツ推進係
施設分類	大分類	スポーツ・レクリエーション施設	中分類	スポーツ施設	小分類	
施設名称	油平クラブハウス					
所在地	あきる野市油平92				敷地面積(㎡)	2,975.00
延床面積(㎡)	306.6	構造	S造	建築年度	平成17	経過年度 20

計画期間	令和8(2026)年度～令和10(2028)年度					
①事業の概要	<p>設置根拠：あきる野市体育施設の設置及び管理に関する条例</p> <p>設置目的：体育、スポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、市民の健康で文化的な生活の向上に寄与するため。</p> <p>サービスの概要：体育施設及びこれに附属する設備の提供。体育施設における体育、スポーツ及びレクリエーションの指導及び普及事業の実施など。</p>					
②事業の現状	<p>・利用者の対象年齢としては、高齢者の利用が多く、平成27年度から令和6年度までの1年間の平均利用者数は約9,800人となっている。令和2年度はコロナウイルス感染症の影響を受け、利用を制限するため、臨時休館や時間短縮を行っていたことにより、利用者数は約4,200人まで減少したが、令和5年度以降は、1年平均約8,000人まで回復している。</p> <p>・当該施設は、運動広場のクラブハウスという位置付けであるが、地元住民による会議などで利用されることが多い。また、施設の維持管理については、地元町内会に委託している。</p>					
③将来的な事業のあり方(方向性)	<p>・地元町内会をはじめ、市内団体等が文化活動として利用することが多く、結果的に、公民館や地区会館の機能と類似している。このため、運動広場、クラブハウス、集会施設の位置付けを検討し、整理する必要がある。</p>					
④事業の課題	<p>・運動広場の一部は、民地を借用しており、運動広場としての機能を維持するに当たり、課題となっている。</p> <p>・利用実態を踏まえ、クラブハウスの在り方を検討する必要がある。</p>					

⑤個別施設計画における施設の再編等の方向性 (令和3年6月時点)	再編等の方向性	規模縮小・多機能化							
	保全の方向性及び実施時期の目安	大規模改修	令和17	建替え 又は 長寿命化改修	令和47	長寿命化後の建替え	—	(参考)建替え時 築年数	60
⑥再編モデル案 検討のための施設 特性整理	利用対象	市民一般			備考	・市民の利用が多い。			
	需要傾向	利用需要変化なし				・コロナ禍で一時は減少傾向に転じたものの、コロナ禍前の 利用率に戻つつある。			
	規模適正度	時間帯により余剰スペースあり				・時間帯によっては空きがある状態である。			
	建物活用	多目的利用検討可能		○		・クラブハウスにおいては多目的な利用が可能である。			
		複合化・集約化によるサービス 水準の向上が期待される		×					
		設置目的と異なる使用状況あり		×					
		単独機能での建物利用が望ましい		×					
		賃貸借物件での運営も可能(市有物件での 運営は必須ではない)		×					
		投票所機能		○					
	避難所機能		○						
	敷地所有	市有地							
	都市計画法規制	市街化区域				・用途：第二種低層住居専用地域			
	利用圏域	市全域				・市民の利用が大部分を占めている。			
広域化可能性	検討不可			・市外の方々の利用は少なく、広域化は難しい。					
機能重複度	利用圏域に同種・類似施設がある (民間施設)		○	・利用圏域に同種・類似施設があり、同様の事業も行っているが、施設同士距離が離れており利用者にとってはサービスの供給量を減らすことは望ましくないと考える。					
	利用圏域に同種・類似施設がある (国・都・市施設)		○						
	利用圏域に同種・類似施設はない		×						
⑦施策との関連性	関連施策	第2次あきる野市スポーツ推進計画 基本目標5 スポーツに親しめる場の提供～スポーツをする場の提供～							
	説明	誰もが気軽にスポーツや運動に親しむことができる環境づくりに向けて、スポーツに親しむ場の整備や指定管理者と連携し、多様なニーズに対応できるよう施設の効率的な管理、サービスの向上を図るものである。							
⑧再編等の方向性及び修繕・改修等の考え方	【方向性】				(同時に行う対応)				
	総合グラウンドなどの体育施設等の改修の動向などを確認し、再編等の方向性を決定				—				
	【再編方針】 ・総合グラウンド(クラブハウス)、市民球場、油平クラブハウス、山田グラウンド(管理事務所)、小和田グラウンド休憩所などの体育施設等は、令和10年度「ねんりんピック(全国健康福祉祭)」が東京都開催となったことにより、本市が会場地の一つとなり施設改修等を行う可能性などがある。このことに伴い、施設の利用状況などに影響が及ぶ可能性があることから、こうした動向を確認し、再編等の方向性を決定する方針を定める。				【修繕・改修】 ・再編するまでの間、施設の老朽化や定期的な点検・診断結果に基づき、実施する。				
⑨計画実行のスケジュール	想定実施年度	想定対策内容			想定実施年度	想定対策内容			
	令和8年度以降	・体育施設等の改修の動向などを確認し、再編等の方向性の検討			令和8年度以降	・未定 (再編等の方向性に沿った具体的手法による)			
⑩計画実行に当たっての留意事項	—								
⑪計画実行後の課題	—								

■再編等に関する実施計画

令和7年12月

施設棟番号	D-7		所管部署	教育部	スポーツ推進課	スポーツ推進係
施設分類	大分類	スポーツ・レクリエーション施設	中分類	スポーツ施設	小分類	
施設名称	山田グラウンド（管理事務所）					
所在地	あきる野市山田1-1				敷地面積(㎡)	19,116.95
延床面積(㎡)	198.58		構造	RC造	建築年度	昭和62
					経過年度	38

計画期間	令和8（2026）年度～令和10（2028）年度					
①事業の概要	<p>設置根拠：あきる野市体育施設の設置及び管理に関する条例</p> <p>設置目的：体育、スポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、市民の健康で文化的な生活の向上に寄与するため。</p> <p>サービスの概要：体育施設及びこれに附属する設備の提供。体育施設における体育、スポーツ及びレクリエーションの指導及び普及事業の実施など。</p>					
②事業の現状	<p>・利用者の対象年齢としては、子どもから高齢者までの幅広い年代が利用しており、平成27年度から令和6年度までの1年間の平均利用者数は約27,000人となっている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用を制限するため、臨時休館や時間短縮を行っていたことにより、利用者数は約24,500人まで減少したが、令和5年度以降は約26,000人となっている。</p> <p>・当該施設には夜間照明が整備されており、市内で唯一の夜間照明付きテニスコートであるため、利用が多い。一方で、利用者からは照明が暗い、人工芝が摩耗しているなどの意見が寄せられている。</p> <p>・当該施設は夜間照明があるグラウンドとして、小学生から大人まで多くの団体が利用している。また、野球場については多目的利用ができることもあり、市外の高校や大学の利用頻度も多い。</p> <p>・管理棟については、利用者の更衣、トイレ休憩、暑熱対策や天候急変時の避難場所としても利用されており、スポーツ活動の付帯施設として、重要な役割を担っている。</p>					
③将来的な事業のあり方（方向性）	<p>・市内同種の施設の利用状況などを踏まえ、集約化などについて検討していく。</p>					
④事業の課題	<p>・管理事務所は築後約40年であることから、老朽化による雨漏りや不具合箇所が見受けられるため、補修等が必要である。</p> <p>・老朽化による照明の球切れがあり、テニスコートについては、利用者から照度を上げてほしいといった要望がある。このため、全体の照明のLED化を検討する必要がある。</p> <p>・テニスコートは利用頻度が高く、人工芝の摩耗が著しいため、適正な時期における人口芝の張替の実施など、安全・快適に利用できるよう、維持管理を行う必要がある。</p>					

⑤個別施設計画における施設の再編等の方向性（令和3年6月時点）	再編等の方向性	集約化							
	保全の方向性及び実施時期の目安	大規模改修	平成17	建替え 又は 長寿命化改修	令和29	長寿命化後の建替え	—	（参考）建替え時 築年数	60
⑥再編モデル案検討のための施設特性整理	利用対象	市民一般			備考	・主に市民が使用申請で利用している。			
	需要傾向	利用需要変化なし				・コロナ禍で一時は減少傾向に転じたものの、コロナ禍前の利用水準に戻りつつある。			
	規模適正度	時間帯により余剰スペースあり				・時間帯によっては空きがある状態である。			
	建物活用	多目的利用検討可能	○			・管理事務所としての機能を果たしているのみで多目的な利用が可能である。			
		複合化・集約化によるサービス水準の向上が期待される	×						
		設置目的と異なる使用状況あり	×						
		単独機能での建物利用が望ましい	×						
		賃貸借物件での運営も可能（市有物件での運営は必須ではない）	×						
		投票所機能	×						
		避難所機能	○						
	敷地所有	市有地							
	都市計画法規制	市街化調整区域							
	利用圏域	市全域				・市民の利用が大部分を占めている。			
広域化可能性	検討不可			・市外者の利用もあるが、近隣自治体との共同設置や共同運営までは期待できない。					
機能重複度	利用圏域に同種・類似施設がある（民間施設）	×		・利用圏域に同種・類似施設があり、同様の事業も行っているが、施設同士距離が離れており、サービスの供給量を減らすことは望ましくない。					
	利用圏域に同種・類似施設がある（国・都・市施設）	○							
	利用圏域に同種・類似施設はない	×							
⑦施策との関連性	関連施策	第2次あきる野市スポーツ推進計画 基本目標5 スポーツに親しめる場の提供～スポーツをする場の提供～							
	説明	誰もが気軽にスポーツや運動に親しむことができる環境づくりに向けて、スポーツに親しむ場の整備や指定管理者と連携し、多様なニーズに対応できるよう施設の効率的な管理、サービスの向上を図るものである。							
⑧再編等の方向性及び修繕・改修等の考え方	【方向性】				（同時に行う対応）				
	総合グラウンドなどの体育施設等の改修の動向などを確認し、再編等の方向性を決定				—				
	【再編方針】 ・総合グラウンド（クラブハウス）、市民球場、油平クラブハウス、山田グラウンド（管理事務所）、小和田グラウンド休憩所などの体育施設等は、令和10年度「ねんりんピック（全国健康福祉祭）」が東京都開催となったことにより、本市が会場地の一つとなり施設改修等を行う可能性などがある。このことに伴い、施設の利用状況などに影響が及ぶ可能性があることから、こうした動向を確認し、再編等の方向性を決定する方針を定める。				【修繕・改修】 ・再編するまでの間、施設の老朽化や定期的な点検・診断結果に基づき、実施する。				
⑨計画実行のスケジュール	想定実施年度	想定対策内容			想定実施年度	想定対策内容			
	令和8年度以降	・体育施設等の改修の動向などを確認し、再編等の方向性の検討			令和8年度以降	・未定（再編等の方向性に沿った具体的手法による）			
⑩計画実行に当たっての留意事項	—				—				
⑪計画実行後の課題	—				—				

■再編等に関する実施計画

令和7年12月

施設棟番号	D-9		所管部署	教育部	スポーツ推進課	スポーツ推進係
施設分類	大分類	スポーツ・レクリエーション施設	中分類	スポーツ施設	小分類	
施設名称	小和田グラウンド（休憩所）					
所在地	あきる野市小和田8先				敷地面積(㎡)	6,495.00
延床面積(㎡)	70.39		構造	RC造	建築年度	平成9
					経過年度	28

計画期間	令和8（2026）年度～令和10（2028）年度					
①事業の概要	<p>設置根拠：あきる野市体育施設の設置及び管理に関する条例</p> <p>設置目的：体育、スポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、市民の健康で文化的な生活の向上に寄与するため。</p> <p>サービスの概要：体育施設及びこれに附属する設備の提供。体育施設における体育、スポーツ及びレクリエーションの指導及び普及事業の実施など。</p>					
②事業の現状	<p>・利用者の対象年齢としては、子どもから大人まで幅広い年代が利用しており、平成27年度から令和6年度までの1年間の平均利用者数は約16,000人となっている。令和元年10月の台風19号によってグラウンドが浸水し、令和2年度まで復旧工事のため休場した。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休場対応もあわせて行った。令和3年5月から一般利用を開始し、令和5年度以降は年間約15,500人の利用となっている。</p> <p>・主にソフトボール競技の会場として市民大会のほか、関東大会などの広域的な大会も開かれており、管理棟は、利用者のトイレ休憩、暑熱対策や天候急変時の避難所等としても利用されるなど、市民のスポーツ活動の拠点施設として重要な役割を担っている。</p>					
③将来的な事業のあり方（方向性）	<p>・グラウンドは、主にソフトボールや少年野球で使用されることが多く、グラウンドの維持管理については、スポーツ協会に委託している。今後もグラウンドに精通した専門的な知識を持ったスポーツ協会による維持管理を継続する予定である。</p> <p>・グラウンドの維持管理や利用者の休憩場所、暑熱対策や天候急変時の避難所等として建物は維持する必要がある。</p> <p>・大会会場としても利用される機会が多く、市内で4面使用できるグラウンドは当該施設のみであり、五日市地区のスポーツ活動の拠点施設として今後も管理していく必要がある。</p>					
④事業の課題	<p>・休憩所については、令和元年の台風19号により水没したが、現在のところ機能上は大きな問題も無く使用できている。利用者の休憩所のほか、グラウンドを維持管理する上で必要な施設であることから、スポーツ活動の拠点施設として維持管理を行っていく。</p>					

⑤個別施設計画における施設の再編等の方向性 (令和3年6月時点)	再編等の方向性	規模縮小／集約化											
	保全の方向性及び実施時期の目安	大規模改修	令和9	建替え 又は 長寿命化改修	令和24	長寿命化後の建替え	—	(参考)建替え時 築年数	45				
⑥再編モデル案 検討のための施設 特性整理	利用対象	市民一般			備考	・主に市民が利用している。							
	需要傾向	利用需要変化なし				・コロナ禍で一時は減少傾向に転じたものの、コロナ禍前の利用水準に戻りつつある。							
	規模適正度	時間帯により余剰スペースあり				・時間帯によっては空きがある状態である。							
	建物活用	多目的利用検討可能	○			・休憩所においては多目的な利用が可能である。							
		複合化・集約化によるサービス水準の向上が期待される	×										
		設置目的と異なる使用状況あり	×										
		単独機能での建物利用が望ましい	×										
		賃貸借物件での運営も可能(市有物件での運営は必須ではない)	×										
		投票所機能	×										
		避難所機能	○			・利用圏域に同種・類似施設があり、同種の事業も行っているが、施設同士距離が離れておりサービスの供給量を減らすことは望ましくない。							
	敷地所有	全借地(無償)								・河川区域			
	都市計画法規制	市街化調整区域											
	利用圏域	市全域								・市民の利用が大部分を占めている。			
	広域化可能性	検討不可								・市外の方々の利用は少なく、広域化は難しい。			
機能重複度	利用圏域に同種・類似施設がある(民間施設)	×		・利用圏域に同種・類似施設があり、同種の事業も行っているが、施設同士距離が離れておりサービスの供給量を減らすことは望ましくない。									
	利用圏域に同種・類似施設がある(国・都・市施設)	○											
	利用圏域に同種・類似施設はない	×											
⑦施策との関連性	関連施策	第2次あきる野市スポーツ推進計画 基本目標5スポーツに親しめる場の提供～スポーツをする場の提供～											
	説明	誰もが気軽にスポーツや運動に親しむことができる環境づくりに向けて、スポーツに親しむ場の整備や指定管理者と連携し、多様なニーズに対応できるよう施設の効率的な管理、サービスの向上を図るものである。											
⑧再編等の方向性及び修繕・改修等の考え方	【方向性】				《同時に行う対応》								
	総合グラウンドなどの体育施設等の改修の動向などを確認し、再編等の方向性を決定				—								
	【再編方針】 ・総合グラウンド(クラブハウス)、市民球場、油平クラブハウス、山田グラウンド(管理事務所)、小和田グラウンド休憩所などの体育施設等は、令和10年度「ねりんピック(全国健康福祉祭)」が東京都開催となったことにより、本市が会場地の一つとなり施設改修等を行う可能性などがある。このことに伴い、施設の利用状況などに影響が及ぶ可能性があることから、こうした動向を確認し、再編等の方向性を決定する方針を定める。				【修繕・改修】 ・再編するまでの間、施設の老朽化や定期的な点検・診断結果に基づき、実施する。								
⑨計画実行のスケジュール	想定実施年度	想定対策内容			想定実施年度	想定対策内容							
	令和8年度以降	・体育施設等の改修の動向などを確認し、再編等の方向性の検討			令和8年度以降	・未定 (再編等の方向性に沿った具体的手法による)							
⑩計画実行に当たっての留意事項	—				—								
⑪計画実行後の課題	—				—								